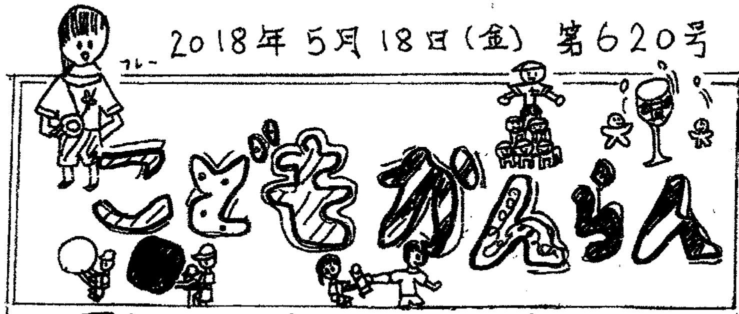
2018年5月18日(金)　第620号　運動会特集1　関東学院六浦小学校　(1)



こどもがんらん

スローガン　決定

!258人が一人一人全力を尽くそう!

5月10日の児童議会で「258人が一人一人全力を尽くそう」が運動会のスローガンとして決まった。このスローガンには、一人一人が全力をつくしてがんばってほしいという思いがこめられている。258人は、この学校の全校児童の数だ。

毎年、児童議会の人たちが意見を出して、多数決で決わている。258人が一人一人全力を尽くして、がんばってほしい。

全員が心を一つにしてがんばって欲しい。（[redacted]）

前日までの係

開閉会式

開閉会式係は、運動会の始めと終わりに行われる開閉会式の司会をする。先生は尾木先生、メンバーは6人だ。開閉会式の係の人に何が大切なのか聞いてみた。それは、「大きな声ではっきりと言うこと、まちがえずに言うことだと分かった。とても重要な仕事だ。係の人にがんばってほしいと伝えたい。今年の開閉会式に注目だ。みんなで心を1つにして司会をつとめてほしい。（[redacted]）

新聞係

新聞係は、こどもがんらんを作る係だ。新聞係のがんばることはくわしく取材をすることだ。もしていろ人なんが見るので、正しく書けるよう努めている。新聞係のみりょくは、たくさんの人に読んでもらうことと学校のれきしにのこることだ。今年の特集は、14人のメンバーで4まい発行をするよていだ。（[redacted]）

応援団

応援団はチームを応援したりエール交かんをしたりする係だ。4年生も始めてなのに、一生けんめいおぼえようとしていた。応援団の担当の大日向先生は、「応援団は、各クラスから20人が集まってできている。」と語っていた。チームの応援も、エール交かんもどちらもがんばってほしい。（[redacted]）

応援歌

ドラえもん(星野源)	前前前世(ラッドウィンプス)
みんなで勝利目指	みんなの全全全力で
して	ゆう勝目指す
必ずたどりつくか	みんなの力合わせれ
ら	ばきっと勝てるから
がんばれ赤組	みんなの全全全力で
かかかかかかかか	白組勝つぞ
勝つぞ	今年も絶対勝てるは
絶対	ずさ〜

トランペット鼓隊!!

運動会の行進のパレードドリルをえんそうする係だ。パレードドリルとはトランペットやドラムの発表のことだ。楽ふや動きをおぼえる事が大変だ。はなやかなところがみりょく的だ。4年エリヤ組の[redacted]さんと[redacted]さんにレギラーメンバーに入った気持ちを聞いた。「はじめてなってきんちょうしているけどがんばりたい」と語っていた。（[redacted]）

プログラム係

プログラム係は、手持ちのプログラムや大きなベニヤ板のかん板などを8人で製作している。そして大きなベニヤ板に書くのが大変そうだった。どういう気持ちで取り組みたいかを聞いてみると、みる人がわかりやすいプログラムを作りたい。」と言っていた。どんなプログラムになるか楽しみだ。（[redacted]）

グランドせいび

グランドせいびがかりは、きけんぶつをひろったり水タンクをもってきたりするかかりだ。水タンクは、テントがたおれないようにするためのおもしのやくわりをしている。きけんぶつとは、たとえば石や犬のふんやミミズなど、はだしでふむとあぶなかったり、よごれたりするもののことだ。他にも、木のえだやガラスなどもある。たのしいところは、たからさがしみたいにきけんぶつを見つけてひろえることだ。（[redacted]）

グランドそうしょく

それぞれのチームをおうえんしたり、かざりをつけたり絵をかく係だ。まど一枚分のおうえんの絵をかきグランドから見えやすいところにはる。グランドそうしょく係のいい所は、2つある。1つ目は自分の絵をみんなにみてもらえることだ。2つ目は好きな色や絵や字をかけることだ。係の人のかいた絵が、まちどおしい。（[redacted]）

入たい場門

入たい場門係は、入たい場門を作る係だ。デザインは、一人一人がアイディアを出し教室の黒板にはって多数決で決めた。柿倉先生は安全に気をつけてさぎょうをすることを大切にしていると語っていた。入たい場門係のみんなは、輪を使ってくれることを楽しみにしている。（[redacted]）

全校体そう

全校体そうは、みんなの前でおどる係だ。たんとうは、福田先生だ。練習している人にどんな気持ちでおどっているか聞いてみた。5年エステル組[redacted]さんは、「みんなのお手本になるように。」と言っていた。5年エステル組[redacted]さんは、「みんなが楽しくできるように、自分も楽しくできるように。」と言っていた。この体そうは30年以上やっているのでがんばってほしい。（[redacted]）

プラカード係

プラカード係は、各クラスの先頭に立って入場の時に活やくする係だ。係に入った6年生は、「みんなの先頭に立つから、美しく、お客さんから格好良かったと言われるようにがんばりたい。」と言っていた。担当の本田先生は、「うまく児童を、ひっぱっていってほしい」と、語っていた。美しく、足のそろった行進ができるように当日まで毎日練習しつづけている。かんぺきのじょうたいで、お客さんに見せられるようがんばっている。6年生の当日のりっぱなところを見てほしい。（[redacted]）

放送係

放送係は、運動会のきょう技のせつめいをしたりする係だ。メンバーは6人で、たん当は石塚ひろき先生だ。だれが原こうを作っているかというと、そのきょう技のたん当の人が作っているそうだ。大切にしていることは、お客さんに分かりやすくせつ明する事だ。他にも大きな声ではっきり、みんなが楽しめるような放送を目指している。そして運動会をもり上げるような放送をしている。どんな放送か楽しみだ。（[redacted]）

メダルスローガン

メダルスローガン係は、まだ小学校に入っていない子にあげるメダルと、アブラハムホールにはるスローガンをつくる係だ。たん当はこしま先生だ。この係は4年生だけの係で、児童は7人だ。係の子は、「楽しい、わくわくする」と言って作っていた。メダルは、丸いかみにキャラクターをかいて、リボンをとおして、つくっている。アブラハムホールのまどにはるスローガンは、大きなもぞうしに、ふでで大きくかいて、はっている。（[redacted]）